

トークンレス・ワンタイムパスワード

PassLogic

エンタープライズ版

バージョンアップ概要とリリースノート(エンタープライズ版 v2.2.1)

2015/11/26



1. リリースノート

PassLogicの歩み

1987

「乱数表から抜き出してワンタイムパスワードを生成する」システム PassLogic認証方式を発明。

2000

PassLogic認証方式が米国特許 (US6141751) を取得。



2000-2006

パソロジック方式の技術ライセンスを日本企業へ提供。

2007

PassLogicのパッケージ販売を開始。SSL-VPN連携機能を実装。



2008

Webサービス組み込み用APIを強化。スマートデバイスにいち早く対応。

2009

Webアプリとの連携機能 (リバースプロキシ & SSO) を実装。LDAPからのユーザID同期を実装。

2010

セキュリティポリシーや運用機能、連携機能など基本機能を大幅に拡充。英語対応し海外展開が可能に。マルチテナント版リリース。

2011

クラウドアプリ連携 (SAML) に対応。スマートデバイス最適化。

2012

マルチテナント版機能拡充しサービスプロバイダのデファクト採用の礎に！ (ソフトバンク/富士通/KDDI/NEC/IIJ など)

70万ID突破

2013

運用の自動化を実現する機能拡充。

80万ID突破



2014

小規模から大規模要件まで対応可能なエンタープライズ版をリリース。

90万ID突破

2015

エンタープライズ版の機能拡充。主要連携製品とメーカー間の検証を完了。

100万ID突破

2016

リリースノート

【機能改善・不具合修正】

- ・ LDAP同期機能 同期間隔「毎日指定時刻に実行」または「指定した時間おきに実行」を指定した定期自動実行が設定登録後の翌日以降に実行されなくなる不具合を修正

※PassLogic Enterprise Edition v2.1.0 / v2.1.1 / v2.2.0で発生する不具合です。それ以外のバージョンでは発生しません。

